WATER SUPPLYING METHOD AND DEVICE IN DRY MANUFACTURE OF INORGANIC PLATE

Publication number: JP6008220 (A)
Publication date: 1994-01-18
Inventor(s): NISHIHIRA HIDEKI +
Applicant(s): KUBOTA KK +

Application (1): KUBOTA KK *

| Classification: - International: B28E162; B28E312; B28E500; B28E746; B28E162; B28E300; B28E800
| European: B28E3162; B28E3162; B28E500
| European: B28E3162; B28E316

European: B28B3/12B; B28B7/48B Application number: JP19920189939 19920623 Priority number(s): JP19920189939 19920623

Abstract of JP 6008220 (A)

PURPOSE:To improve strength by performing sufficiently water supply and solidification of cement, by a method wherein in the case where a boardlike body is molded by performing hydrotytic rolling press of a dry cement compound after supply of the dry cement compound onto a molding belt, compression molding is performed while infiltrating steam within the dry cement compound. CONSTITUTION: After a dry cement compound G for which silica powder in a pulverized state is used as a silica component such as a silica Hume pipe is supplied onto a molding a belt in a stratified state, hydrolytic rolling press of which is performed and a boardlike body is molded. In this case, the dry cement compound G is compressed by a compression device having a steam spouting hole. That is, compression molding is performed while infiltrating steam into the dry cement compound G. Therefore, in a water supplying device 1, a large number of fine holes 4 are formed in the outer circumference of a rotary drum 3 supported axially by a shaft 2, through which the surface of the dry cement compound G is pressed. Then a steam supply through 5 is made to abut against the inside of the rotary drum 3 and the steam is supplied to the steam supply trough 5 from a steam supplying device 6.

5 SA 58 8 G

Data supplied from the espacenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁(JP) (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出期公開番号 特開平6-8220

(43)公開日 平成6年(1994)1月18日

(51)Int.CL ⁵		識別記号	庁内整理番号	FΙ	技術表示箇所
B 2 8 B	6/00		7224-4G		
	1/52		9152-4C		

審査請求 未請求 請求項の数3(全 4 頁)

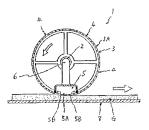
(21)出期番号	告順平4-189939	(71)出原人	990901052 株式会社クボタ
(22)出駐日	平成 4 年(1992) 6 月23日		大阪府大阪市浪速区数津東一丁目 2 善47号
		(72)発明者	西平 英橋
			大阪府大阪市漁遠区数津東一丁目 2 番47号 株式会社クボタ内
		(74)代理人	弁型士 清水 実
		İ	

(54) 【発明の名称 】 無機質板の能式製法における給水方法及びその装置

(57)【要約】

原料内への水分浸透を積極的に図り、高硫度の無機質板 を拡式製法で成形することを目的とする。 【構成】 シリカヒュームなど、シリカ分として敵粉状 のシリカ粉末を使用する乾燥セメント配合物を成形ベル ト上に歴状に供給して加水し板状体を成形していく乾式 法において、成形ベルト上に供給された前記乾燥セメン ト配合物層を蒸気輸出孔を育する圧縮装置で圧縮し、層 状の乾燥セメント配合物中に蒸気を浸透させつつ圧縮成 形する工程よりなり、蒸気浸透により層内への給水を図 **5.**

【目的】 級紛原料を使用する無機質板の乾式製法で、



【特許請求の範囲】

【請求項1】 シリカヒュームなど、シリカ分として微 粉状のシリカ紛末を使用した乾燥セメント配合物を成形 ベルトトに歴状に供給し削水転圧して板状体を成形して いく乾式法において、成形ベルト上に供給された前記乾 燥セメント配合物層を蒸気噴出孔を有する圧縮装置で圧 縮し、歴状の乾燥セメント配合物中に蒸気を浸透させつ つ圧縮成形することを特徴とする無機質板の乾式製法に おける給水方法。

多数の微小孔を育する回転ドラムと、該回転ドラム内面 に摺動可能に接し、かつ接触面のみが開放された蒸気供 給トラフと、該蒸気供給トラフに高圧蒸気を供給する薬 気供給装置とからなることを特徴とする無銭質飯の乾式 製法における給水装置

【請求項3】 多数の微小孔を有するスチールベルト と 終スチールベルトを成形ベルト上の乾燥セメント配 台物層表面に沿って押圧するロールと、前記スチールベ ルト内面に超動可能に接し、かつ接触面のみが隔放され た蒸気供給トラフと、放蒸気供給トラフに高圧蒸気を供 20 給する蒸気供給鉄罐とからなることを特徴とする無繊質 板の蛇式製法における給水鉄艦

【発明の詳細な説明】

[0001]

「産業上の利用分野」この発明は、無機質板の飲式製法 における給水方法及びその続置に関し、詳しくは乾式法 において高強度の繊維溶強セメント板を製造する場合に 有用な無機質板の乾式製法における給水方法及びその装 機に関する。

[0002]

「従来の技術」従来、繊維繊維セメント板、主として平 板状屋枠材の製造方法として、循磁微能を添加した粉状 セメント混合物を成形ベルト上へ層状に供給し、飼水の 上ロールで圧縮し、板状体を成形し所定長さに截断後、 オートクレーブにより養生硬化させて製品とする。いわ ゆる乾式法が知られている。ところで、上記繊維補強セ メント板の製造方法における補強繊維として、石綿が伝 統的に使用されてきたが、石總は公害の原因となること から使用の制限ないしは全廃が強く要請され、その代替 のパルプ繊維は、耐熱性、耐アルカリ性などを有し、ま たセメントマトリックスに対する結合性などに優れ、他 の合成樹脂繊維に比較してかなり有望とされている。 【0003】しかし、上記パルブ繊維はセメント等の無

観覧原料に対する付着性が悪く、セメントマトリックス に対する密着性が十分でなく、添加に見合った補強効果 が得難いといった問題があった。このような問題を解消 するため、セメント配合中のシリカ貿原料として反応性 の高いブレーン値7090om /g 以上の微紛シリカを使用

し、セメントマトリックスの結合強度を高めて製品強度 50 【0010】

を高めることが種々試みられている。

[0004]

【従来技術の問題点】しかし、上記のようにシリカ原料 を微粉化していくと、屋状の原料内への水の浸透性が悪 くなり、通常の湿潤させたベルト上に成層後表面に飲水 した程度では層内部まで十分に水分が浸透せず、セメン トの硬化反応が十分に行われない結果 強度向上が有効 に図れなくなる問題があった。一方、逆に散水量を増や すと成形ロールへの微粉原料の転移付着が生じる他、成 【請求項2】 回転軸周囲に回転可能に軸支され外周に 16 形ロールの圧溜転圧時に成形体の伸び率が増加し、クラ ック発生の原因となり高品質の製品が出来なくなる問題

があった。 [0005]

【発明が解決しようとする課題】この発明は上記問題点 に鑑み、乾式法において無石綿配合の製品を製造する場 台 シリカ質原料を維給化しても十分に含水の行える無 機器板の乾式製法における給水方法及びその接置を提供 することを目的としてなされたものである。

100061

【課題を解決するための手段】即ち、この発明の無機質 板の乾式製法における給水方法は、成形ベルト上に供給 された前記数録をメント配合物度を蒸気輸出孔を省する 圧縮終體で圧縮し、層状の乾燥セメント配合物中に蒸気 を浸透させつつ圧縮成形することを特徴とするものであ

【0007】第2の発明は、上記方法を実施する装置で あって、回転軸周囲に回転可能に軸支され外周に多数の 微小孔を有する回転ドラムと、該回転ドラム内面に溜動 可能に接し、かつ接触面のみが開放された蒸気供給トラ 30 フと、該蒸気供給トラフに高圧蒸気を供給する蒸気供給 禁鬱とからなることを特徴とするものであり、

【0008】第3の発明は、多数の微小孔を有するスチ ールベルトと、該スチールベルトを成形ベルト上の乾燥 セメント配合物層表面に沿って押圧するロールと、前記 スチールベルト内面に褶動可能に接し、かつ接触面のみ が開放された蒸気供給トラフと、該蒸気供給トラフに高 圧蒸気を供給する蒸気供給装置とからなることを特徴と するものである。

[00001

繊維としてバルブ繊維などの使用が検討されている。こ 49 【作用】この発明において、乾式法として使用されるセ メント配合としてはシリカ質原料に微鉛シリカを使用し た従来と同じ配合であり、この原料配合の点では特に記 する点はない。この発明において、上記乾燥原料に給水 を行う場合、層状の乾燥原料を圧縮転圧する際に蒸気噴 出孔を有する圧縮装置で圧縮し、吸出する蒸気を層状の 乾燥セメント配合物中に浸透させて転圧を行う。従っ て 乾燥セメント車には蒸気が遺標的に浸透してトリッ クス内に必要な水分が十分に行き渡り、硬化反応に寄与 するのである。

「事能例」次にこの発明の事権例を説明する。 図1はこ の発明の無機管板の較式繋圧における給水装置の断面 図 図2はいま一つの登明の実施機の断面図である。

- 【0011】との発明の無機質板の鼓式製法における給 水装置1は、回転輪2周囲に回転可能に軸支され外周3 Aに多数の微小引.4…4を有し、成形ベルト8上の乾燥 セメント配合物層の表面を押圧する回転ドラム3と、こ の回転ドラム3内面に褶動可能に接し、かつ接触面5 A のみが開放された蒸気供給トラフ5と、蒸気供給トラフ 5.に席圧萎気を供給する蒸気供給装置6とから構成され 1g なるように圧縮し製板した。これを45cm毎に裁断し2日 ている。また、上記蒸気供給トラフ5のドラム3内面と の接触縁には蒸気腸出防止のパッキンSBが設けられて いる。
- 【0012】上記実施例として、ドラム3を使用した場 台を示したが、とれに代えて図2に示すように多数の微 小孔を有するスチールベルト7 としても良い。即ち、図 2において、多数の微小孔を有するスチールベルト7 と、スチールベルト7を成形ベルト8上の乾燥セメント 配合物屋の裏面に沿って御圧するロール9…9と、スチ みが開放された蒸気供給トラフ5と、蒸気供給トラフ5 に高圧蒸気を供給する蒸気供給装置6とから構成されて いる。
- 【0013】上記図1、図2に示した給水装置1を成形 ベルトB上に設置し、実際に乾式法により厚さ5mm、縦*

* 45cm、満90cmの板状体を成形した。実施状態は以下の通 りである。

【0014】実総例1

セメント47重量%、ブレーン値8009cmi /g の微紛シリカ 48重量%、バルブ繊維5重量%からなるセメント配合物 を成形ベルト上に層状に供給し、通常のロールで層厚5. Sam となるように切した後、 Φ G, Jana の後小孔を10個 /c 計当たり有する図1に示したドラムロール3で、圧力50 ~160kg/cm 100 Cの蒸気を模置させつつ、厚さ 5 mm と 間白秋春生後 180 *C16時間のオートクレーブ能生を行 い試験片を得た。

[0015]実施例2

実施側1のドラムロールに代え、図2に示すスチールベ ルト?を使用した他は実施例1と同様にして試験片を得

[0016]比較例

寒経例1と全く同じ配合原料を使用し、成形ベルト上に 成果したセメント配合物を従来と間線水散布のみで給水 ールベルト7内面に摺動可能に接し、かつ接髪面5Aの 20 してロールにより圧延後、実施例1と間形の試験片を得 た。実施例1 2及び比較例についてJIS 4号曲げ試験 を実施したところ表1に示す結果となった。 [0017]

[表1]

7.4-C 0 III. 1					
	曲げ強度	たわみ			
実施例1	195 kg/cm²	3.5 m			
実施例2	200 "	3.6 "			
比較例	170 "	20 "			

【0018】表1より明らかなように、本発明の続置を 使用して無機質板を乾式製法により製造した場合。曲げ 強度の着しい向上が見られた。

[0019]

「祭明の効果」以上無明したように との発明の方法及 び装置によれば、微粉シリカを配合したセメント配合物 40 3…回転ドラム であってもマトリックス内部に十分に水分が供給される 結果、水和反応が過不足無く行われ強度に優れた無機質 板を製造することが可能となるのである。またこの発明 の結響は、従来の成形ベルトに沿って付加的に敷設する ことが出来るので、設備鉄罐の大幅な改変をすることな く容易に実施できるなどの効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の給水装置衡面図である。 【図2】この発明の給水装置筋面図である。

【符号の説明】

1…無機質板の飲式製法における給水装置 2…回転輪

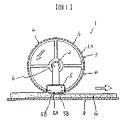
3 A … 外周 4…多数の添小孔

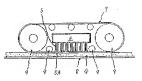
5…蒸気供給トラフ

5 A …接触面

6…蒸気供給装置

7…スチールベルト





[22]